

理科 天気の変化

★雲のようすと天気の変化の関係を調べましょう。

<観察>

- ①いつも同じ場所から記録をする。目印になる建てものを決めておくといよい。
- ②午前の決めた時間（毎回同じ時間にする）に、天気や雲のようす（量や形、動き）を調べて、記録する。
- ③午後の決めた時間（毎回同じ時間にする）に、天気や雲のようす（量や形、動き）を調べて、記録する。
- ④同じように5日間観察する。（観察の日は、間があいてもよい。）

※理科の教科書P9、10を参考にしましょう。

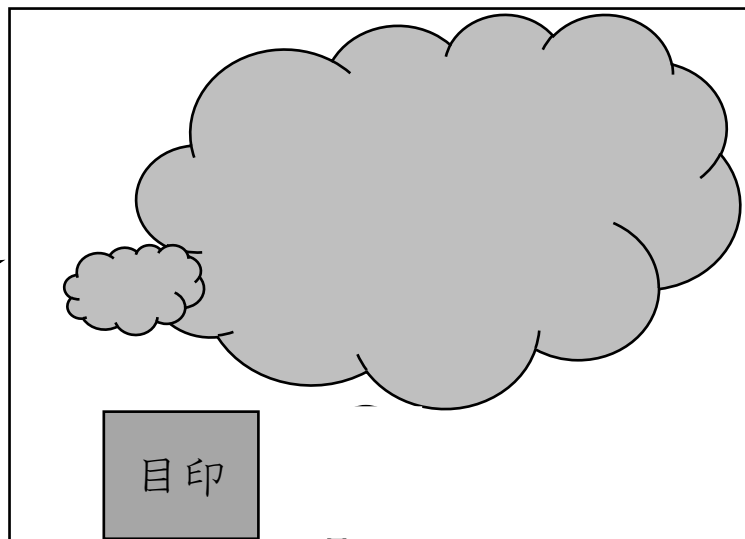
太陽を直接見ないように気を付けましょう。

★理科のノートを使います。

<晴れとくもりの決め方>

空全体の広さを10としたとき、雲のしめる量が0～8のときは「晴れ」、9～10のときは「くもり」

4月24日(金)午後2時
午後の天気 くもり



たて10マス
くらい

<雲の量>

空全体に広がっていた。

<雲のようす>

形は、もくもくとした大きなかたまりの雲が見られた。

動きは、午前と比べるとおそく、ゆっくりと東のほうへ動いた。

くもの動きは、方位であらわしてみましよう。

午後は、午前と比較もしてみましよう。

ほかにも気づいたことがあれば、書きましよう。